

平成27年度 第6回基本政策審議会資料

長期構想の基本的な考え方 (案)

岡山市

市民感覚からみた岡山市の課題(全般)

まちの課題	まちの魅力
<ul style="list-style-type: none">○本気でやらなくても、なんとかなってきたという意識(立地の優位性など所与の強みで発展できた)○現状にある程度満足、チャレンジしない	<ul style="list-style-type: none">○住みやすさ<ul style="list-style-type: none">・高次機能集積(大学、商業施設、医療等)・交通結節点・災害が少なく温暖な気候・多様で豊かな自然と食 等○中途半端かもしれないけど、それもいい(都会でも田舎でもある)
<ul style="list-style-type: none">○住みやすいけど、まちに誇りが持てない、自信が持てない、知名度が低い○いろいろと中途半端と感じる○悪くはないけど、特徴がない	
<ul style="list-style-type: none">○岡山市のことをあまり知らない○外向けに発信しない	
<ul style="list-style-type: none">○おもてなしの精神が弱い○出る杭は打たれる風土○内向きで視野が狭い	

➡ 住みやすさを生かしつつ、変えるべきものを市民と行政が本気で取り組む

➡ 「中途半端さ」の原因は、
都心のにぎわいや街なみ、交通、観光、文化、都市イメージ などではないか

新たな総合計画の方向性

市民の課題意識

<まちの課題>

- まちに誇りや自信が持てない、知名度が低い
- いろいろと中途半端と感じる
- 悪くはないけど、特徴がない
- 岡山市のことをあまり知らない、外向けに発信しない

➡ 「中途半端さ」の原因(都心のにぎわいや街なみ、交通、観光、文化、都市イメージ など)

<まちの魅力>

- 住みやすさ(高次機能集積、交通結節点、災害が少なく安全・安心 等)

都市ビジョンの策定趣旨

- 政令指定都市として新たなステージ
- 少子・高齢化、地球温暖化、地方分権など大きな変化

都市ビジョン策定後の変化

- 指定都市移行後7年が経過
- 行財政改革も一定の成果
- 人口減少問題への対応が国家的課題
- 地域経済を活性化させ、圏域全体の発展を牽引する役割
- 子育て・教育に対するニーズの拡大
- 頻発する大規模自然災害への対応
- ESD世界会議の成功

方向性

市民の課題意識、時代の変化・要請を踏まえつつ

市民が変化を実感できる10年へ

庭園都市の安定イメージを生かしつつ、活力と躍動感の動的イメージの付加(「静」から「動」へ)

⇒ 目指す「3つの将来都市像」を具体的に提示

中心部と周辺部のバランスのとれた発展

➡ 市民が誇りと愛着を持てるまちへ

時代の潮流と課題認識(総論)

人口減少問題と
少子高齢化への対応

- ・人口減少期に突入、中長期的な生産年齢人口の減少、若い世代の岡山への定着
- ・人口の東京一極集中など地域的な偏在、東京圏等への人口流出の歯止め
- ・人口減少・超高齢社会を見据えた都市構造の転換

岡山市らしさの
発揮と発信

- ・地方分権の進展
- ・固有の地域資源など独自性を活かしきれていない
- ・市民の誇りや愛着が弱い
- ・国内外に向けた発信力不足、認知度が低い

地域経済の活性化と
広域的役割への期待

- ・雇用と活力を生み出す産業振興に向けた戦略性
- ・特産の果樹をはじめ農業の担い手不足
- ・市街地の拡散による岡山市全体の発展の核となる中心市街地の活力、にぎわい不足
- ・観光誘客・受入れ力が弱い
- ・公共交通の利便性向上、自動車中心のライフスタイルからの転換
- ・拠点都市としての広域的役割の拡大

将来
都市像
I

子育て・教育ニーズの拡大
若者や女性など
市民の力の発揮

- ・結婚、妊娠、出産、子育ての希望がかなう環境整備
- ・学力の向上、問題行動、不登校への対応
- ・若者、女性をはじめ多様な人材が活躍しやすい環境づくり
- ・ESD活動など多様な主体の力を活かした地域課題の解決

将来
都市像
II

安全・安心に対する
市民意識の高まり

- ・頻発する集中豪雨等、南海トラフ巨大地震の発生の危険
- ・高齢化の進行による医療、介護需要の増加
- ・健康づくり、生涯現役のサポート

将来
都市像
III

岡山市の強みと特性を活かす

立地条件のよさ	高次の機能集積、中四国の交通のクロスポイント
	<ul style="list-style-type: none">・商業・医療など、高次の都市機能の集積・多くの学生が集う学術・研究の拠点・全国的にも非常に優れた交通の広域拠点性
住みやすさ	災害が少なく温暖な気候、豊富な医療・介護資源
	<ul style="list-style-type: none">・温暖な気候に恵まれた「晴れの国」、自然災害が少ない・広大な市域、多様な自然環境・高度医療を提供する医療機関の集積・豊富な医療・介護資源、在宅医療・介護等の先駆的な取組
認知度の高い 地域資源	先人から引き継ぐ固有の歴史・伝統文化
	<ul style="list-style-type: none">・古代吉備勢力(桃太郎伝説、うらじゃまつり、吉備団子など)・岡山城の築城・城下町の形成、岡山後樂園・国指定史跡の多さ(奈良県明日香村に次いで全国で6番目)
バランスのとれた 産業構造	第3次産業中心の産業構造、全国有数の農業都市
	<ul style="list-style-type: none">・卸売・小売業や、医療・福祉産業等のサービス業の割合が高い・全国ブランドの農産物を生産、全国有数の農業都市
市民力の高さ	活発な地域活動、ESDの取組
	<ul style="list-style-type: none">・地縁組織の活発な活動・「ESDに関するユネスコ世界会議」の成功(2014年)・ユネスコの「キーパートナー」に認定

3つの将来都市像①

活
力
躍
動

I. 国内外から人を呼び込む魅力と活力あふれる「経済・拠点都市」(仮)

(分野：産業、中心市街地、観光・交流、都市基盤、交通、周辺地域)

地域経済を成長させる

○岡山市の持つ優れた立地条件や都市機能集積等の強みを活かした産業の育成や地域経済の活性化により、国内外から人や企業を呼び込む、活力あふれる都市をめざす。
【例】ヘルスケア産業など戦略的な産業振興、桃太郎伝説・岡山城・吉備路などを活かした観光振興、都市ブランド力の強化、UIJターンの促進

都心部のにぎわいを創出する

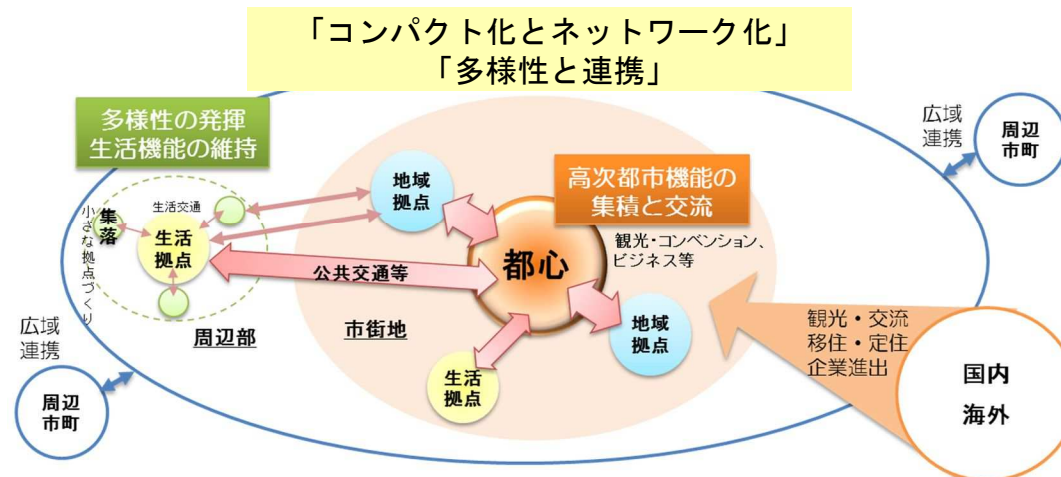
○都心部において、中心市街地の魅力とにぎわいを創出し、交流を活発化することにより、市域全体の発展をけん引する原動力とする。
【例】岡山城の活用など歴史・文化ゾーンの魅力向上、歩行者優先の歩いて楽しい空間づくり

地域とつなぎ、魅力をつくる

○都心と地域の拠点とが公共交通等で相互に結ばれた「コンパクト化とネットワーク化」の都市づくりをめざす。
【例】バス・鉄道等の公共交通の利便性の向上
○周辺地域が、生活機能を維持しながら、地域資源を活かし個性を発揮する、彩り豊かな多様性のある都市をめざす。

圏域の発展をけん引する

○高次都市機能の集積を活かし、関係市町と相互に連携しながら、圏域全体の発展を力強くリードする拠点都市をめざす。
【例】連携中枢都市圏構想の実現、瀬戸内4県都連携



3つの将来都市像②

育む
拓く

Ⅱ. 未来を生きる豊かな人間性と創造力を育む「文化・教育都市」(仮)

(分野：文化・スポーツ、子育て、教育、若者・女性、参加・協働、ESD)

新たな文化を創造・発信する

○岡山市固有の歴史・文化をまちづくりに活用するとともに、様々な交流を通じて新たな文化を創造し、国内外に積極的に発信する都市をめざす。

【例】(仮称)岡山国際現代芸術祭の定期開催、新しい文化芸術施設の整備

子育て環境を充実させる

○子どもを生き育てやすい環境が整い、若者世代が定着し、若者・女性の大きな人材力を活かす都市をめざす。

【例】潜在的保育・子育てニーズへの対策

岡山型で教育力を高める

○こども園・保・幼・小・中の学びの連続性を大切にしつつ、学校、家庭、地域社会が協働して教育力を高めることで未来を拓く人材が育つ都市をめざす。

【例】岡山型一貫教育による学力向上、地域協働学校の推進

市民主体の都市をつくる

○多様な担い手が、協働・ESDの理念に基づき、まちづくりに参加する市民主体の都市をめざす。

【例】ESDの活動促進と国内外への情報発信

安心
調和

Ⅲ. 安全・安心で健やかに暮らし続けることができる「環境・福祉都市」(仮)

(分野：健康・医療・福祉、安全・安心、環境)

健康で安心して暮らす

○生涯を通じて健康でいきいきと活躍でき、豊富な医療・介護資源を活かして誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる都市をめざす。

【例】健康寿命の延伸、生涯現役社会づくり、在宅医療・介護の推進

安全に万全を期す

○都市基盤の計画的な整備、地域における自主的な活動を通じて、大規模化する自然災害等への備えに万全を期し、市民の暮らしの安全・安心が確保された都市をめざす。

豊かな自然を引き継ぐ

○低炭素・循環型の社会を推進し、市民一人ひとりが環境に配慮した行動を実践することで、多様な自然環境と調和した豊かな暮らしを将来世代に引き継ぐ都市をめざす。